

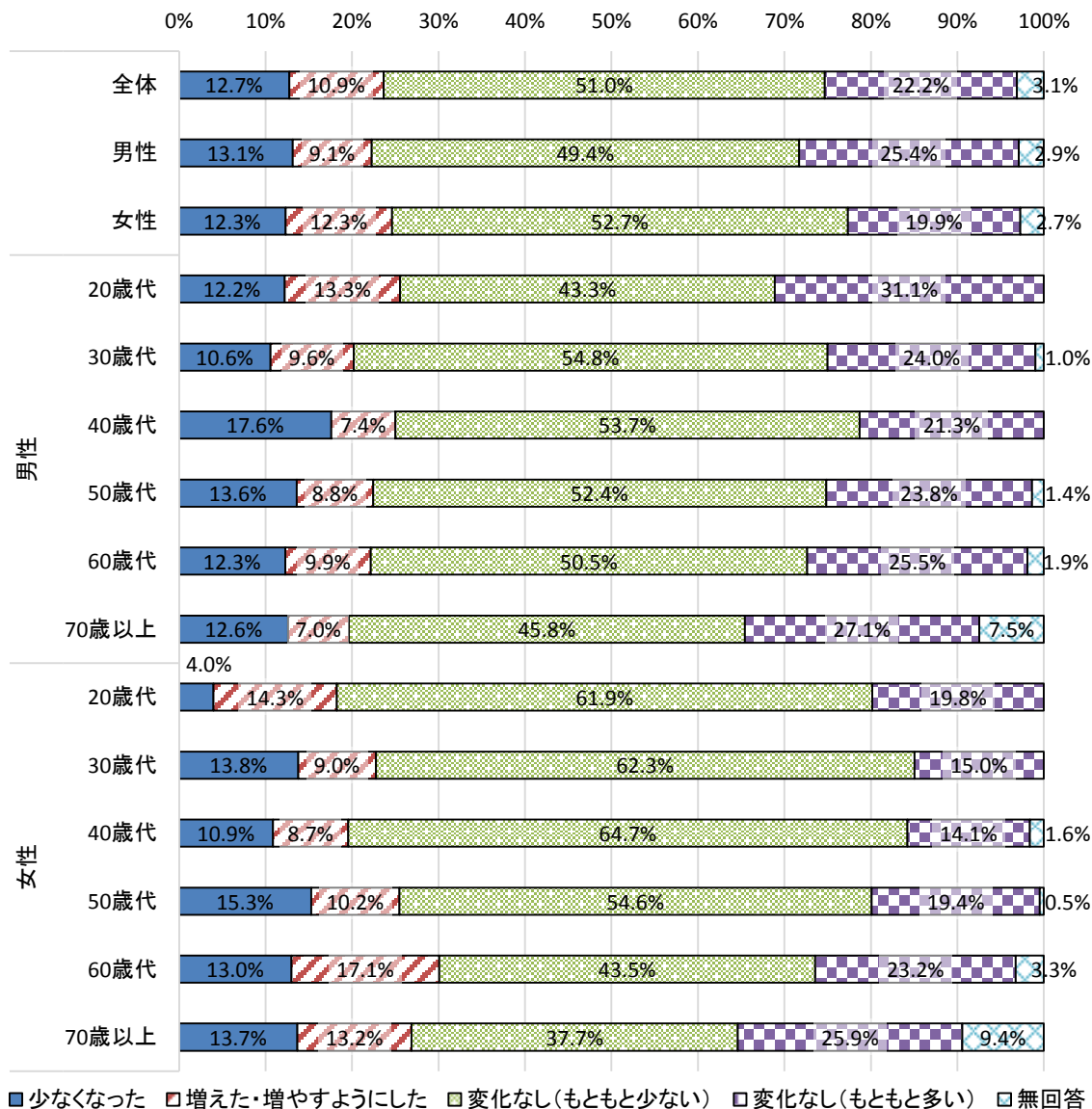
## 10. 熊本地震による生活習慣への影響について

問 35 運動や体を動かす機会について

(SA)

全体では「少なくなった」が12.7%、「増えた・増やすようにした」が10.9%、「変化なし」が73.2%で、男性は「少なくなった」が13.1%、「増えた・増やすようにした」が9.1%、「変化なし」が74.8%で、女性は「少なくなった」が12.2%、「増えた・増やすようにした」が13.3%、「変化なし」が72.7%であった。

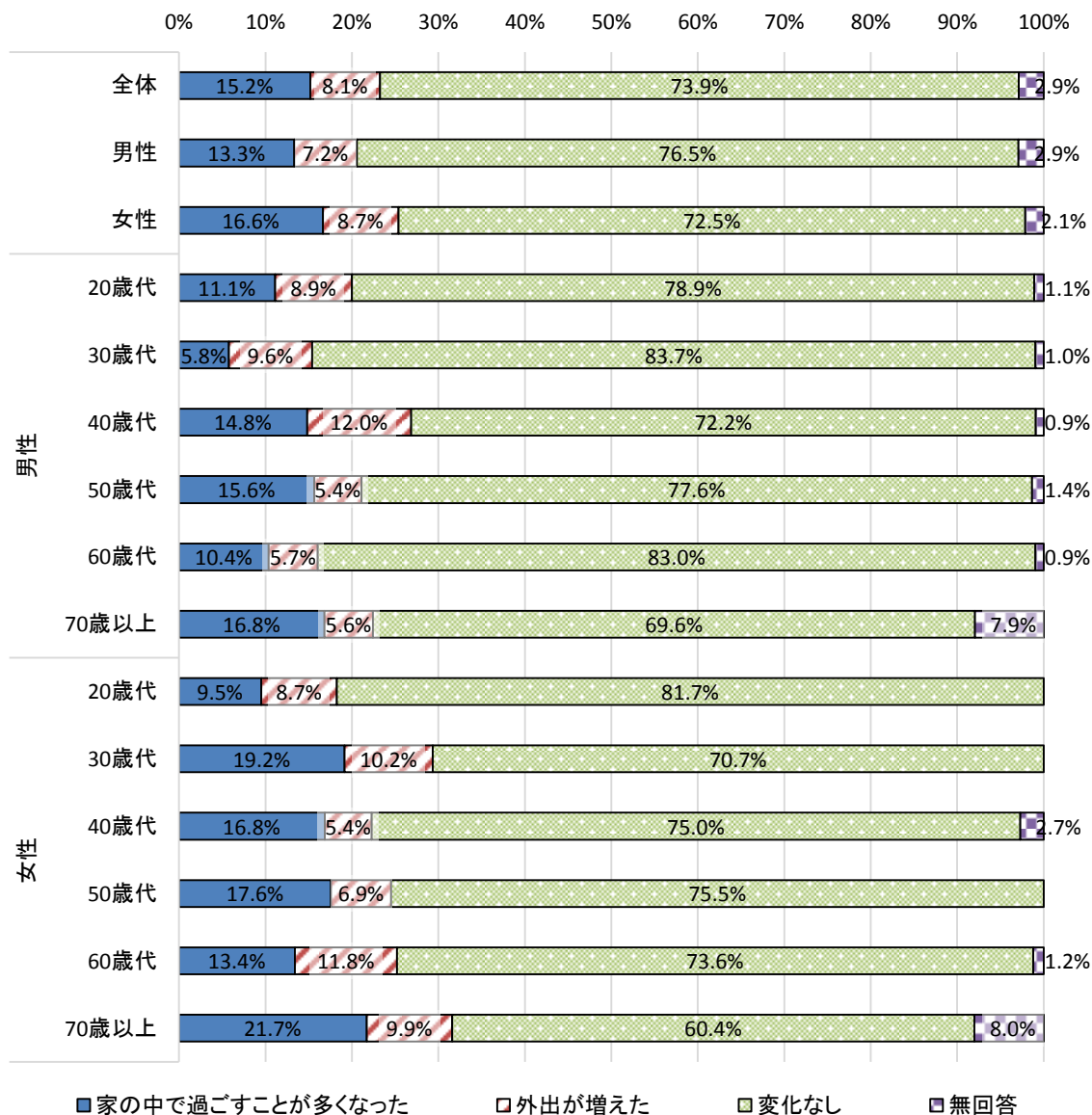
性別・年齢別にみると、「少なくなった」が男性では40歳代、女性では50歳代が最も高かった。



問 36 外出の機会について

(SA)

全体では「家の中で過ごすことが多くなった」が15.2%、「外出が増えた」が8.1%、「変化なし」が73.9%で、男性は「家の中で過ごすことが多くなった」が13.3%、「外出が増えた」が7.2%、「変化なし」が76.5%で、女性は「家の中で過ごすことが多くなった」が16.6%、「外出が増えた」が8.7%、「変化なし」が72.5%であった。男女ともに70歳以上で「家の中で過ごすことが多くなった」が他の年代より高くなっている。

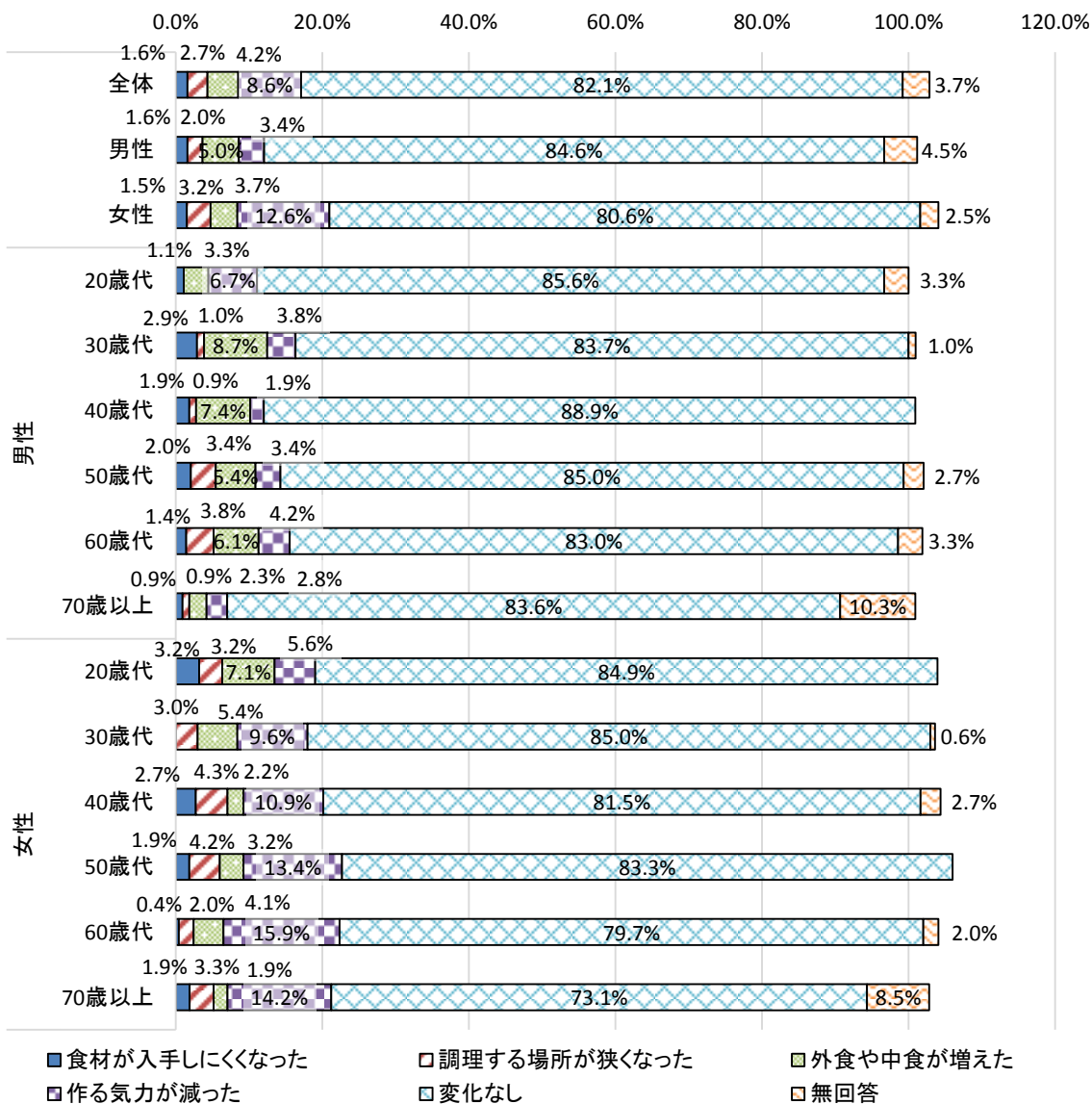


問 37 食生活について

(SA)

全体では「作る気力が減った」が 8.6%、「外食や中食が増えた」が 4.2%、「調理する場所が狭くなった」が 2.7%、「食材が入手しにくくなった」が 1.6%、「変化なし」が 82.1%であった。

女性では「作る気力が減った」が 12.6%と男性と比べて高くなっており、特に 50 歳代以上は 13%以上である。

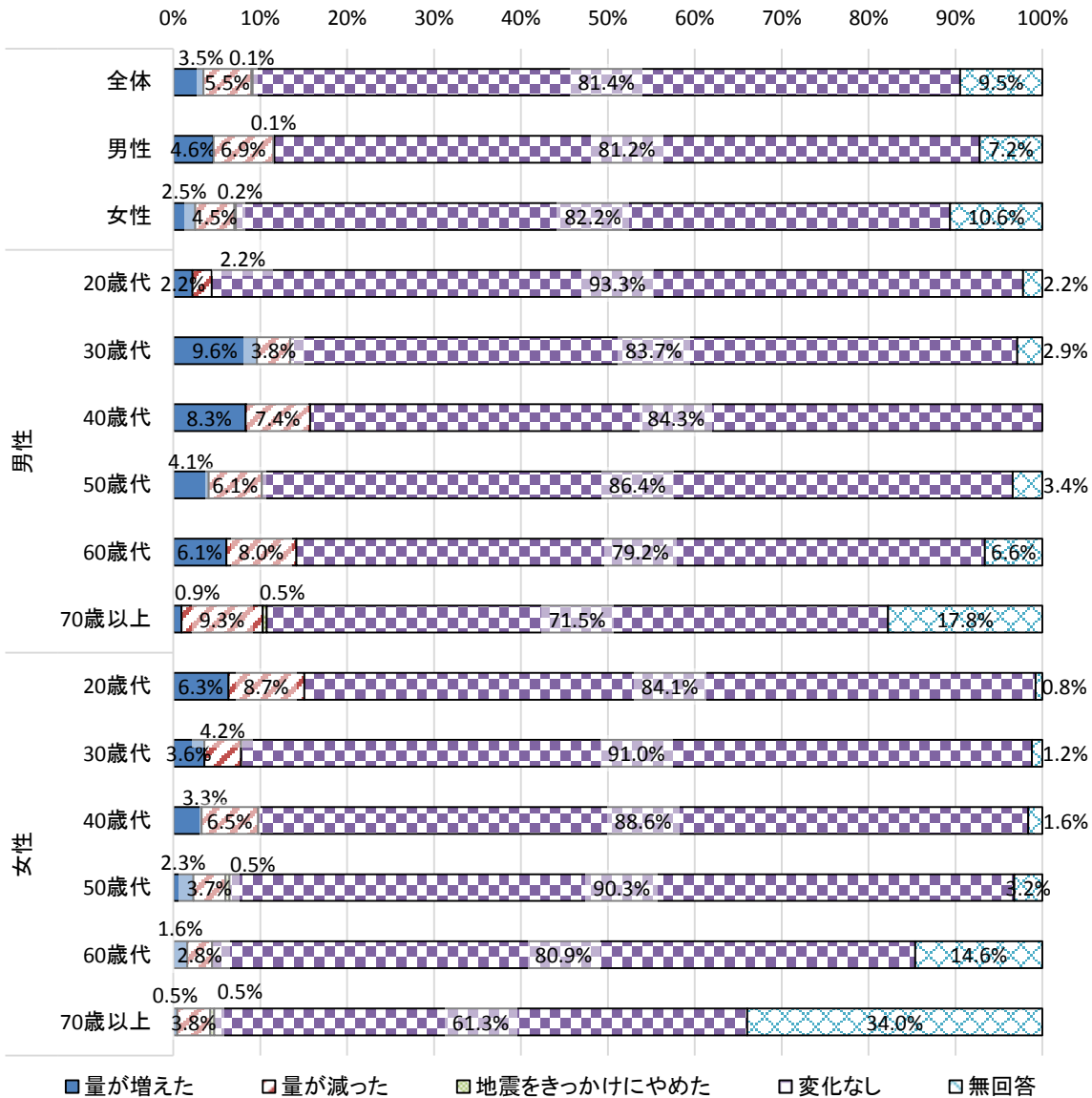


問 38 飲酒（お酒の量）について

(SA)

全体では「量が増えた」が3.5%、「量が減った」が5.5%、「変化なし」が81.4%であった。

男性では30歳代、女性では20歳代が「量が増えた」が最も高くなっている。

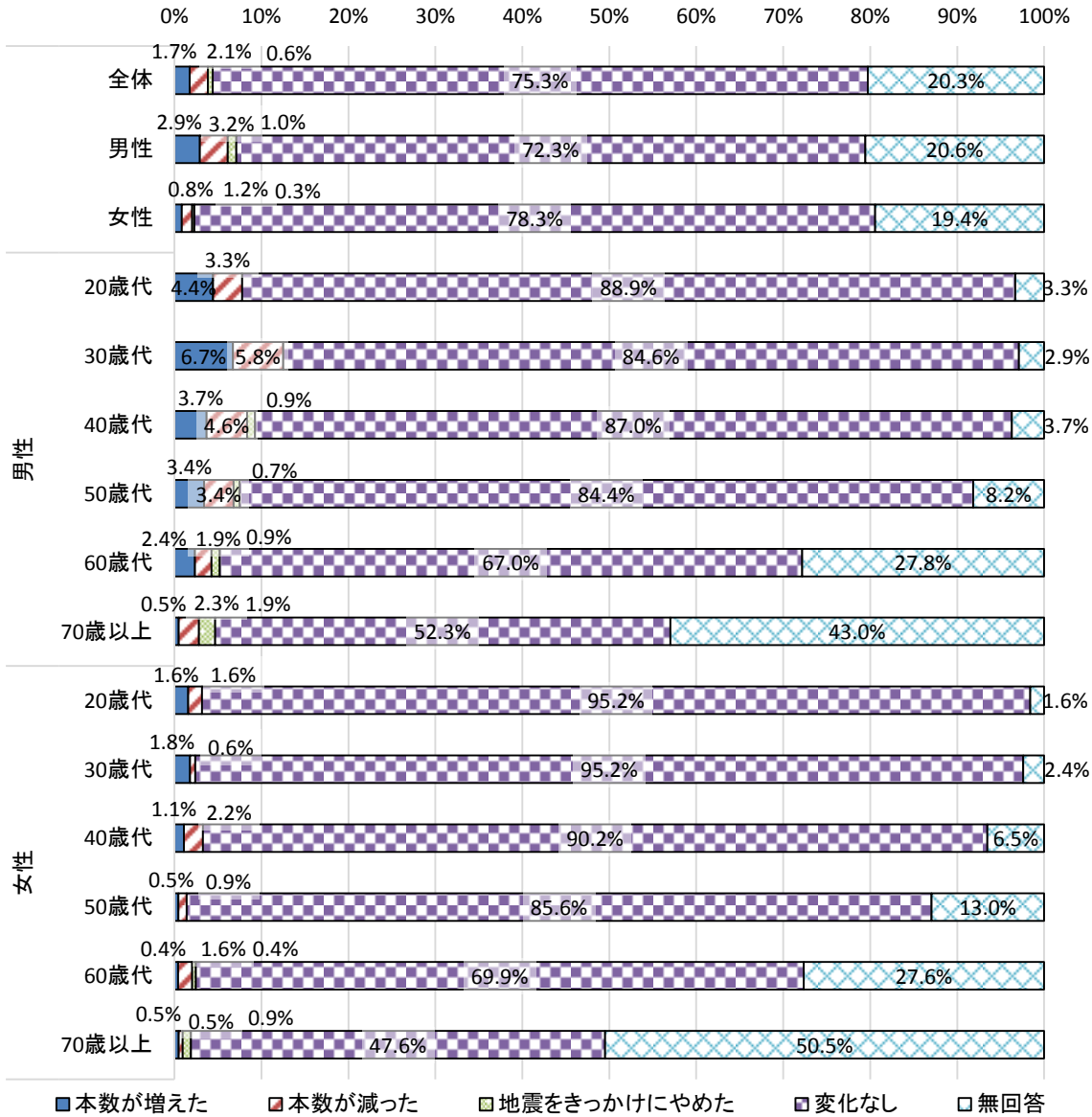


問 39 喫煙（たばこ）について

(SA)

全体では「本数が増えた」が1.7%、「本数が減った」が2.1%、「変化なし」が75.3%であった。

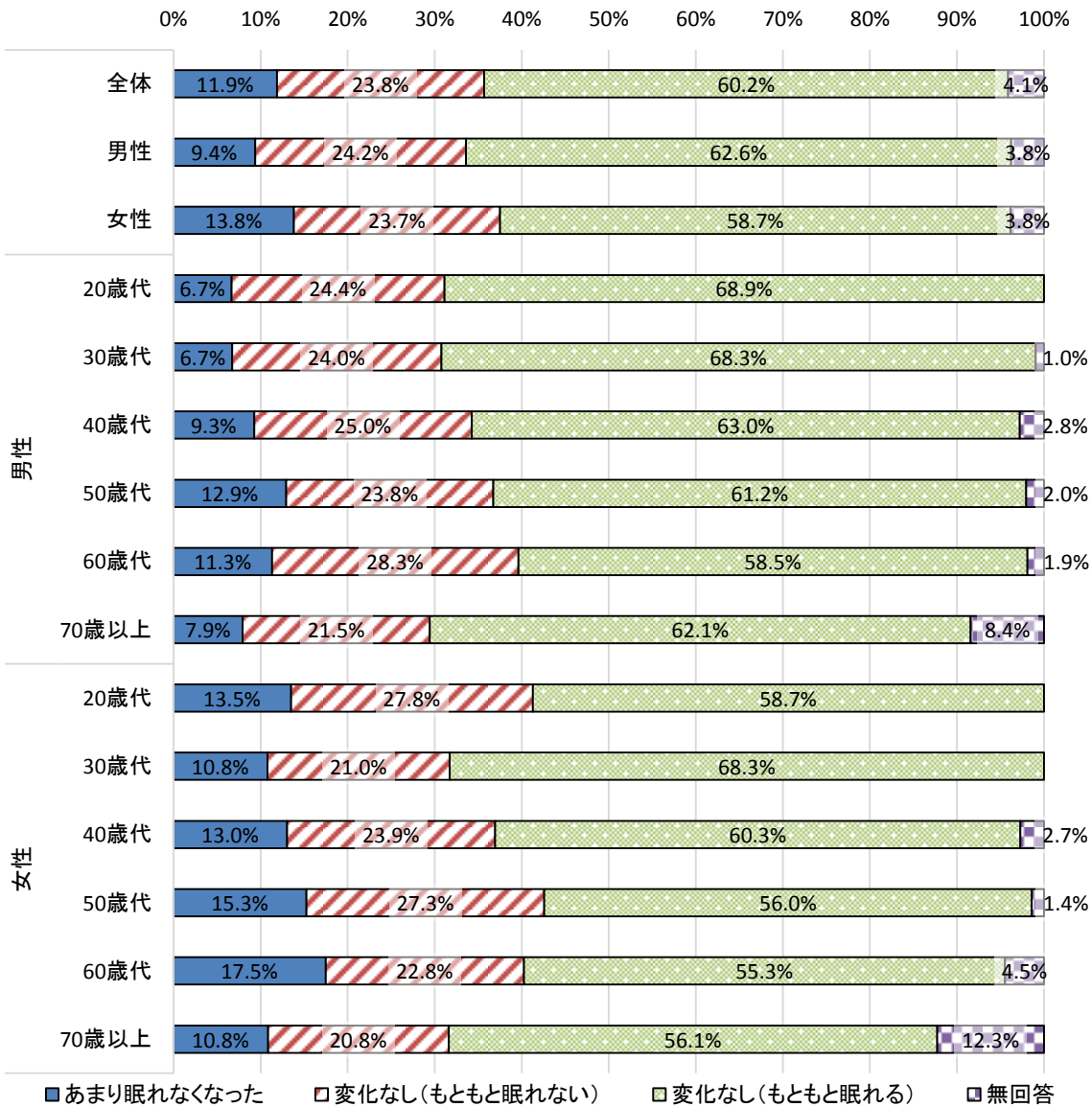
30歳代男女ともに「本数が増えた」割合が最も高くなっている。



問 40 睡眠について

(SA)

全体では「あまり眠れなくなった」が 11.9%、男性では 9.4%、女性では 13.8%であった。「変化なし」は全体では 84%、男性では 86.9%、女性では 82.3%であった。性別・年代で見ると、60歳代の女性の「あまり眠れなくなった」が 17.5%と他の年代と比べ最も高くなっている。



問 41 歯と口腔について

(MA)

全体では「口が渴く」が9.9%、「口内炎がよくできる」が5.5%、「飲食中にむせる」が5.2%、「歯磨きの回数が減った」が2.5%、「変化なし」が78.4%となっている。男性の50歳代～70歳以上、女性の20歳代～70歳以上で男女年齢区分が上がるごとに口が渴く割合が高くなっている。

